



ぽっぽ屋



輸送サービス労組 東京支部

2023.7.22
No. 115

進化と変革に緊急事態

要員・教育・経験不足で仕事の本質が理解できず！

連続する事故に対して精神論では解決しない！！



2023年7月8日 池袋駅 埼京線ホーム 11時53分頃
ホーム担当社員、改札担当社員の2名で線路内拾得を捜索していた際、接近してきた列車に気付かず汽笛吹鳴を受ける事象。

※2名の社員とも捜索時、列車見張員は必要ないと認識。そのため2名とも線路内を覗き込み、うち1名が列車の接近に気づかなかった。

2023年7月20日 五反田駅 山手線ホーム 7時40分頃
列車見張員担当社員、作業担当社員の2名で線路内拾得作業を開始した直後、接近した列車に気づかず空気式汽笛及び非常ブレーキ扱いによる非常停止手配の事象。
※ホームは湾曲しており、目視では列車の接近が確認しにくい現場であったにもかかわらず、2名の社員とも列車接近の確認を行っていない。



本来業務軽視の会社施策によって鉄道の安全文化が崩れ落ちる！



2023年7月 京葉線 短期間で3回の速度超過発生
7月13日、17日、19日と速度超過が発生。運転士が速度超過を認めた2件の事象については直ちに適切な処置を行っている。車掌が速度超過を認めた事象に関しては非常停止手配を取らず乗務終了後、自区当直へ連絡
※京葉線は昨年末から速度超過の事象が頻繁に発生しており最重要課題であった。

2023年7月21日 山手線（外側）田町～浜松町間
試運転列車が田町駅から外側線路（京浜東北線の線路）を運転した際、列車見張員がいたにもかかわらず作業員が本線上にいたため汽笛吹鳴・非常ブレーキ使用の事象。
※たまたま当該電車には運転士の他に運転指導が添乗しており2名の前方注意力によって大惨事には至らなかった。

